

「あれ？」と思うことが増えてませんか？「なんていう名前だったかな？」「何をしに来たんだっけ？」なんていうことが最近増えてきた方は要注意。「年のせい」や「自分に関係ないこと」という思い込みは、予防のための取り組みを遅らせてしまいます。

認知症になると、さまざまな症状から生活に支障が生じ、家族が共倒れになることも危惧されます。

認知症は、加齢や病気などが原因となつて誰もがかかる可能性のある身近な病気です。残念ながら今は認知症を完全に防ぐ方法や薬はありませんが、要因

相談の窓口から 「認知症予防は健康づくり」

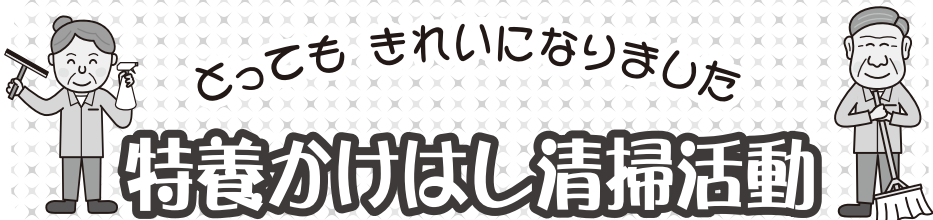
の一つである生活習慣病を予防することで発症を遅らせることや症状を軽くすることができます。

《生活習慣病の予防》

- ①しよっぱいものやお酒の摂りすぎに注意。栄養バランスにも気を付けましょう。
- ②ウォーキングなど適度な運動を続けましょう。
- ③趣味活動など生活に楽しみを持ちましょう。
- ④人と交流の機会を持ちましょう。まずはできることから始めてみましょう。

「かけはし」では年1回の「認知症サポーター養成講座」の開催や気になるとへの相談対応も随時行っています。一人で悩まず、ご相談ください。

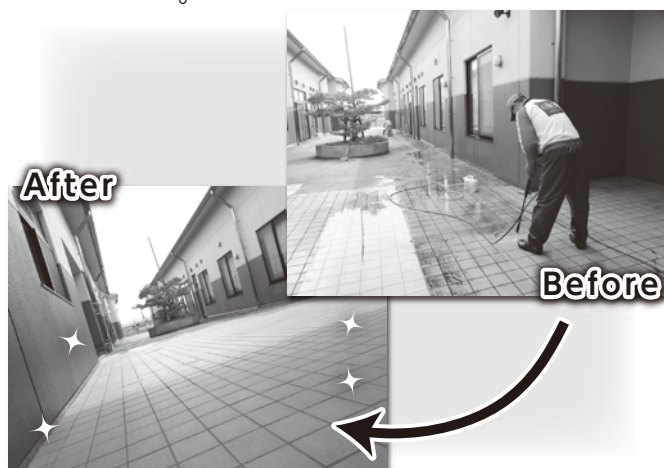
居宅介護支援事業所



7月17日の午前中、特養家族会役員3人・職員2人の5人で清掃活動を行いました。連日の雨模様でしたが、当日は奇跡的に快晴となりました。高圧洗浄機や塵取り等の道具を駆使し、テラス二か所に面した窓ガラス掃除、地面の苔取り、東屋の地面の黒ずみ落としに汗を流しました。

清掃活動は昨年度も家族会の協力を得て行いましたが、たつた一年されど一年、かなり汚れていました。今春に清掃活動を考えていましたが、コロナ禍となり、やや遅くなりましたがきれいなりました。

今年度は家族会の会員と職員が交流する新年会等の活動は自粛することになりました。



が、新しい生活様式の中で、入居者・家族が快適に過ごすことができるよう検討していきたいと思えます。

特養施設長 五十嵐志保

グループホーム 畑づくり



グループホームかけはしの畑では、なかなか梅雨明けしない中、丹精込めた様々な野菜が育っています。真っ赤なトマト・色鮮やかなズッキーニ・ピーマン・茄子・さやいんげん、今年は少し小さめですが、沢山のじゃがいもなど、食べ頃を迎え日々収穫しています。

畑にはまだまだ沢山の野菜があります。一番の楽しみは、これ



から美味しさを増していく庄内名産のえだまめ。本格的に暑くなる事を待っています。

収穫した野菜を、入居者と一緒に「どげして切るや？」「何さ使うや？」など会話も弾み食材処理を行い料理に勤しみながら、季節の野菜と共に過ごしています。

グループホーム 介護福祉士 菅原幸子

デイケアから こんにちわ!!

介護老人保健施設の一階にデイケア室があります。デイケアかけはしは、ジムにあるようなマシンを使用したり、歩行訓練や温熱療法、言語訓練など行っています。また、介護職は、毎日行うレクリエーションや手工芸、月の行事など様々な企画、準備をして、ご利用者様に楽しんで頂けるように取り組んでいます。

新型コロナウイルスにより今年は、夏まつりがなくなった地域が多いと聞き、少しでも祭りの雰囲気を感じてもらえればと8月に独自のイベントとして夏まつりを開催しました。

ご利用者様が安心して利用し続けられるようにこれからも感染予防に努めながら、リハビリやレクリエーションなど一緒に楽しい時間を過ごせればと思います。

新規ご利用の方やご相談もお待ちしております。

なお、デイケアかけはしには、介護職員12名、看護師2名、理学療法士2名、言語聴覚士1名が勤務しております。

通所・訪問事業課長 佐藤智子



スタッフ急募 [正職員・他]

- 社会福祉法人山形虹の会 かけはし
- ①正職員 看護師 准看護師
 - ②正職員 介護福祉士 ヘルパー2級or初任者研修修了
 - ③正職員 相談員(社会福祉士or社会福祉主事or介護福祉士)
 - ④正職員 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
 - ⑤介護職員(資格不問) 正職員登用制度あり
 - ⑥特養ホーム夜勤専門員 20:00~6:00
1回8,600円×月10回=86,000円
- 問合せ 鶴岡市民田字家田100番1 TEL0235-25-1131 担当/原田
<https://niji-kakehashi.or.jp/>

介護に関する「不安・悩み」は **かけはしへ** お寄せください。

相談員・ケアマネジャーが相談に応じます **0235-25-1131**